

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえ太鼓ミーティング開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		川上	65355	

事業の概要									
事業の概要		地域の魅力である文化・伝統の再認識と民俗芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成12年度	—						
地域の課題と現状		宮前区は昼間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることについて、第1期区民会議で指摘されるなど、宮前区の特徴を活かし、人と人とがつながるコミュニティを形成していくことや、円滑に地域文化・伝統を継承していくことが課題です。							
予決算 (単位:千円)	H30年度 事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		2,851	2,520	1,877	1,856	2,017	109	2,017	
		2,851	2,520	1,877	1,856	2,017	109	2,017	
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の魅力である文化・伝統を再認識し、民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。 ●区内外の中・高等学校や保育園等にも協力してもらうことで、伝統文化の継承を促進します。 ●ゲスト出演者によるワークショップを開催し、太鼓団体のスキルアップを図ります。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った					
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った					
		3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等	公募の実行委員による太鼓団体の参加と、保育園・中学校等の協力により、「第22回 響け！みやまえ太鼓ミーティング」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントの開催を中止しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	来場者数	目標	1,700	1,600	1,600	700	人
			実績	1,700	1,600	0(中止)		
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	区民を主体とした文化・伝統芸能、民俗芸能等の保存と継承には、市民活動団体相互の交流の支援と促進・情報の共有と活動場所の提供等の支援等が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	伝統文化の創造・継承として、太鼓ミーティングから発生した楽曲「なつの風」の継承に取り組んでいます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	イベントへの区内中学校の参加意欲の高さや、体験コーナーの参加者が多いことから、伝統文化に触れるニーズや興味は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	天気の影響や感染症対策の動向等により来場者数は変動しますが、宮前区の夏の風物詩として定着しており、一定数以上の来場が見込まれると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	ゲストによる公演やワークショップを取りやめることで経費の削減は可能ですが、イベント自体の魅力が薄れ、夏の風物詩としての役割が果たせなくなるが予想されます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 伝統芸能に関する区内最大規模のイベントであり、宮前区の夏の風物詩として定着していることから今後も継続して開催します。また、太鼓だけでなく、区内に伝わる民俗芸能の紹介の場ともなっており、地域や近隣学校等との連携強化を図りながら、地域文化・伝統の継承に貢献します。(新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、感染拡大防止のための縮小・中止等の可能性も含め、状況に応じて適切に検討します。)

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	10	地域の魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		川上・瀬越	65355	

事業の概要									
事業の概要		宮前区には歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源が数多くあるが、区民にあまり知られていないことから、隠れた地域資源の魅力に関する情報の収集・整理と、マップ作成やイベント等による効果的な情報発信を行うことで、区民の地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげてます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成20年度	—						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●当事業により、区民に区の魅力を再発見してもらい、地域への関心や愛着心を深めてもらうとともに、地域づくりやまちづくりに対する参画を促すことが期待できます。 ●昼間人口比率の低い宮前区において、区外を日常の生活圏としている人が多く、地域をよく知らない区民が多いと考えられるため、地域の魅力を再認識し、共有してもらうことが地域づくり、まちづくりに必要となります。 ●第2期区民会議において、宮前区は歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源は多いが、区民にあまり知られていないことが課題と指摘されています。 							
予決算 (単位:千円)	H30年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	521	453	828	678	694	413	614	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	521	453	828	678	694	413	614	

計画 (Plan)	
事業の目的	●地域資源を紹介するマップ等の配布や、マップを活用したウォーキングイベントの実施を通して、より深い地域資源への理解を促します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区歴史文化調査委員会に委託し、歴史ガイドマップの改訂やウォーキングイベントを実施します。 ●宮前区まちづくり協議会に委託し、区内農業に関する情報を掲載したマップを活用したウォーキングイベントを実施します。また、区内農業の魅力を発信する農フォーラムを開催します。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った					
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った					
		3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前歴史ガイドを改訂し、計12,000部作成・配布しました。歴史文化に係るウォーキングイベントを1回開催しました。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1回は中止) ●農に係るウォーキングイベントを1回開催しました。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1回は中止)また、農フォーラムを初めてオンライン開催しました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	宮前歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの開催	目標	4	4	2		回
			実績	4	2	1		
	2 活動指標	農家巡りウォーキングの開催	目標	2	2	2		回
			実績	2	2	1		
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域への愛着を深めるために、継続した情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	宮前区の歴史的遺産を把握し、新たに旧石器時代出土品が市の重要歴史記念物に指定された「鷲ヶ峰遺跡」を年表に盛り込んだ「宮前歴史ガイド」(マップ)の改訂版を発行しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ウォーキングイベントは申込み当日に定員に達するなど、人気のあるイベントとなっており、区民の都市農業と地産産野菜への関心、ニーズは高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ウォーキングイベントへの参加希望者は多く、一部希望超過によりお断りするほど好評を博しており、活動の成果が上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ウォーキングイベントにおいては、受益者負担の観点から次年度実施から参加者1人につき保険料及び資料代として費用を徴収し、事業の経費削減につなげます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		宮前区の魅力を再発見し、地域への関心や愛着心を深め、郷土愛の醸成につなげるためには、引き続き、事業を継続して実施していくことが必要と考えます。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	25	宮前区スポーツ推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		小林	65360	

事業の概要												
事業の概要		健康を維持するために、区内スポーツ施設、川崎市または宮前区にゆかりのあるトップアスリートを活用し、スポーツ等を気軽に親しむ環境づくりをします。また、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブへの理解と協力を促します。										
実施期間		事業開始年度 平成22年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業				
地域の課題と現状		区内スポーツ施設数が十分とはいえない中で、事業に参加した区民のスポーツや健康づくりの継続が課題です。										
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		財源内訳	国庫支出金									
			市債									
	その他特財	329	308	425	344	425	271	425				
	一般財源	2069	2068	1,969	2,052	2,117	2,262	2,026				

計画 (Plan)	
事業の目的	健康寿命延伸に向けた、子どもたちの体力向上、高齢者の健康づくりやコミュニケーションの場づくりをします。
今年度の事業の取組内容	フロントアウンさぎぬまとの連携事業、スポーツふれあい事業を実施します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<p>●フロントアウンさぎぬま連携事業では、4メニューを実施し、計594人が参加しました。また2メニューについて、新たな生活様式に即した内容へと変更し、実施することができました。</p> <p>●宮前ふれあいスポーツフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため未開催となりましたが、イベントの代替手段として、「宮前ふれあいスポーツブック」と動画を作成しました。冊子については、計14,000部を区内小中学校へ配布するとともに、区内行政機関への配架を行いました。動画については宮前区公式ホームページでの配信を行いました。</p>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	フロントアウンさぎぬま連携事業	目標	900	900	900	900	人		
			実績	940	696	594				
	2 成果指標	宮前ふれあいスポーツフェスティバル	目標	530	530	530	530	人		
			実績	703	618	0(中止)				
3		目標								
4		目標								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍の中で新しい生活様式に即した取組を推進していきます。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和 2 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		フロントアウンさぎぬま連携事業については、新しい生活様式に即した内容への契約変更、宮前ふれあいスポーツフェスティバルに代替した冊子や動画の作成など改善を行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍の中で区民が安全・安心を第一にスポーツを行うニーズは高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	フロントアウンさぎぬま連携事業については内容や定員の変更(減員)があったものの、ほぼ予定どおりの参加者数が確保できており一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	フロントアウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブそれぞれの特性を活かせるよう連携を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
フロントアウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら事業を継続することが適切であると考えられます。また、ウィズコロナ時代に即した新たな生活様式に準じた内容を実施していくことが望ましいと思われれます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691650		まちづくり推進部企画課			柏木	65121

事業の概要									
事業の概要		地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源を盛り込んだ冊子等による情報発信を行います。主に転入者等へ配布する宮前区の地域情報冊子「ぐるっとみやまえ」については、2年ぶりの大幅改訂を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。また、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターの貸出やグッズ作成等を効果的に運用します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
		—	—						
地域の課題と現状		地域社会における住民相互の関係が希薄化する中、住民が地域に関心をもち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,430	2,890	2,990	2,717	2,579	2,220	1,952	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	120	200	240	160	240	160	240	
	一般財源	3,310	2,690	2,750	2,557	2,339	2,060	1,712	

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂・発行、「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行、PRキャラクター(宮前兄妹・カッチャん)の貸出・グッズ作成を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		ガイドマップの発行、区民が作成する情報誌「ぐるっとみやまえ」について2年ぶりの大幅改定・発行など、区の魅力を効果的な情報発信に努めました。区のPRキャラクターについては新型コロナウイルスの感染拡大防止のためイベントでの着ぐるみ貸出は減少しましたが、今後の啓発に向けたグッズ作成を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
3	目標									
	実績									
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民一人一人が地域への愛着・関心をもつことが地域の様々な課題を解決していく糸口となることから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信する必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	刊行物の配架先施設を増やした結果、手に取る区民が確実に増えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 様々な広報媒体を効果的に組み合わせ、今後とも情報発信に取り組みます。
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	35	みやまえカルタ活用事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要									
事業の概要		第2期区民会議から提案され作成した「みやまえカルタ」の貸出、販売を推進するとともに、地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとして活用します。							
実施期間		事業開始年度 平成22年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区では、地域への興味や愛着が薄れがちであるため、それぞれが日々暮らし過ごす地域を知ることにより、地域への関心や愛着を高めることが求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	49	0	37	32	18	0	18	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	49	0	37	2	18	0	18	
					30				

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地区カルタ、記念カルタの販売と貸出の広報活動の推進 ●区内で開催されるイベント等における販売活動やカルタ展示等による普及促進

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に広め、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとなるよう、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を推進しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	みやまえカルタの貸出数	目標	10	10	10	10		
				実績	9	8	0			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域への愛着や関心が希薄となる傾向のある中で、区内外に誇れる資源を幅広い世代に伝えるとともに、情報発信を推進するためみやまえカルタの役割は将来に渡って重要なものとなっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業関係経費を削減し、販売に係る歳入予算額と同額の歳出需用費のみ予算化しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い世代へ宮前区の地域資源を継続して広める必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カルタの販売は一定のニーズを保っており、イベント用には大型版の貸出も継続します。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業経費を節減し歳入の範囲内での予算化を継続します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱くきっかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進します。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	40	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		高橋	65121	

事業の概要									
事業の概要		第4期宮前区区民会議において、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化、市民活動の認知度向上等が課題として議論され、各世代の文化や体験、記録を共有すること等を目標に、「区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業	
		平成25年度		未定					
地域の課題と現状		様々な世代間交流の活動や社会的・文化的資産など地域資源に関する情報は、各団体等がバラバラに所有しており、包括的な収集・保存・活用は行われていません。放っておけば散逸の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承していく必要があります。また、まちの形成史を適切に把握・保存することは、今後のまちづくりに関する取り組みを行う上でも重要といえます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	150	135	150	132	150	116	130	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	150	135	150	132	150	116	130	

計画 (Plan)	
事業の目的	世代間交流の活動等を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成をはかります。また、地域資源の記録を世代間で保存・伝承していくことで、宮前区へのふるさと意識を高めます。区誕生40周年、市制100周年を見据え、関係局等の動きも踏まえ事業の方向性を検討します。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、区民の目に直接触れる機会の提供を検討します。また、引き続きアーカイブに関する各局区の動向の把握を実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		事業展開方法を検討し、市政だより宮前区版で特集を実施するなど、効率的・効果的な収集・管理の実施に努めました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、宮前図書館と連携したパネル展を実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	区民の目に直接触れる機会の提供(展示等)	目標	1	1	1		回
				実績	2	3	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区制40周年だけでなく、市制100周年も見据えた全市的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		平成27年度は庁内で試行的に写真を収集し、当初、平成28年度以降は区民からの写真の収集等を検討していましたが、効率的・効果的な事業実施のため、実施手法を見直しました。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている a	
	評価の理由	地域資源や地域活動を適切に記録し、世代間で保存・伝承していくことが求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない a	
	評価の理由	区ホームページ上での写真の公開の他、宮前図書館と連携してパネル展を実施しました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある b	
	評価の理由	区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設したことで、大幅なコスト負担なく、運用していくことができています。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「みやまえデジタルミュージアム」やパネル展の公開資料・写真を充実させるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、広く区民の目に触れる機会について検討します。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	45	宮前区総合情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		高橋	65121	

事業の概要									
事業の概要		区内の魅力的な地域資源を区内外に広く発信し、区民の地域への愛着の醸成や地域のイメージアップを図ることを目的に、宮前区の広報番組を制作・放送します。また、区役所ロビーの窓口発券モニターやYouTubeでも動画配信を行います。区民目線での魅力発信を目指し、番組の企画・取材は区民が記者となり行います。							
実施期間		事業開始年度 平成29年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		情報発信の媒体が多様化する中、より効果的な情報発信の方法として、紙媒体を主とした情報発信から、新たな媒体として映像の導入を模索する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,499	1,499	1,608	1,608	2,010	2,009	1,990	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,499	1,499	1,608	1,608	2,010	2,009	1,990	

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の魅力的な地域資源を発信することで、それを見た人が地域への愛着・関心を深め、地域とつながりを持つきっかけとすることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、「新しい生活様式」を踏まえた上で、宮前区の地域情報冊子「ぐるっとみやまえ」の特集と連動した番組を制作し、複合的なメディア展開を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、区民の情報発信団体「みやまえ情報ラボ」と協働して、宮前区広報番組「ぐるっとみやまえTV」を3本製作し、地域のケーブルテレビ「イツツ・コミュニケーションズ」での放送及び宮前区公式YouTubeチャンネルでの動画配信を行いました。また、メイキング動画の作成及びYouTubeでの配信も行い、より効果的な情報発信に努めました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	番組制作本数	目標	3	3	3		本
				実績	3	3	3		
	2	活動指標	動画配信本数	目標	3	3	3		本
				実績	3	3	3		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		更なる区民の地域への愛着の醸成や、地域のイメージアップを図るために、区内の魅力的な地域資源の情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動の実施が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		切れ目のない情報発信を行うため、「イツツ・コミュニケーションズ」での放送回数及び放送期間を変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	番組の企画・取材を区民記者が行っており、区民目線で区内の魅力的な地域資源を効果的に発信できたと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	動画制作本数について、目標値を達成するなど、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民目線での魅力発信には、区民と協働で行う事業スタイルが最適であり、役割分担等の見直しは難しいと考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	区内の魅力的な地域資源を区内外に広く発信し、区民の地域への愛着の醸成や、地域のイメージアップを図るためには、引き続き、区民記者と協働して、事業を継続して実施していく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の状況についても引き続き見据えながら、番組の企画及び取材を実施します。	

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	05	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		瀬越	65354	

事業の概要									
事業の概要		花苗支援等を通じて、緑化活動団体の活動の活性化と、団体相互の交流を推進させることにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)の促進、区内の緑化団体・公園管理団体の拡充を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあります。第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要です。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,661	1,577	1,631	1,525	1,588	1,518
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,661	1,577	1,631	1,525	1,588	1,518	1,517	

計画 (Plan)	
事業の目的	区内緑化活動団体へ花苗の支援を行うとともに、緑化促進に関する講座等を開催することで、区内の緑化推進及びコミュニティの醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を提供します。 ●緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関するガーデニング講座を開催します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●区内の活動団体に対して花苗の提供(34団体あて、9,336株)を行いました。 ●緑化促進に関するガーデニング講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	区内花壇管理団体に対する花苗支援数	目標	9,000	9,000	9,000		株
				実績	12,651	11,277	9,336		
	2	成果指標	花苗等の支援を行っている緑化活動団体数	目標	35	35	35		団体
				実績	36	32	34		
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域のつながりの希薄化や高齢化に伴い、コミュニティづくりに寄与する活動が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新規花壇管理団体の育成支援について、一定期間広報した結果、これ以上の花壇作成希望者は現れない見込みであることから、新規花壇管理団体への支援を平成30年度を以って終了としました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域で緑化活動を行う市民活動団体は、財政基盤が弱いため、自主管理を進める上でも花苗提供支援の必要性は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	花苗支援を希望する緑化活動団体は増加しており、区内の公園等の適正管理と緑化が進み、区のイメージアップにつながっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民との協働事業として実施しており、これ以上の役割分担の見直し、経費削減は困難であると考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 今後も継続した区内の公園の適正管理と緑化に向けて、活動団体への支援の継続は必要です。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	10	まちづくり推進事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			691700	まちづくり推進部地域振興課		川上・滋野・瀬越	65355		

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市市民活動支援指針」や「宮前区区づくりプラン」に基づき、行政主導ではなく区民主体のまちづくりを推進し、市民活動団体の活動が活性化するような環境を整備する必要があります。 ●区内で活動する市民や市民活動団体を「つなぐ・むすぶ・ひろげる」という中間支援機能を持った宮前区まちづくり協議会と協働して取り組むことで、市民活動団体を情報面、資金面等から支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ります。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		平成9年度	—						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区まちづくり協議会の持つ中間支援機能により、地域で活動する市民活動団体等のネットワーク化を推進し、市民活動の活性化や地域の人材育成を図ることができます。また、地域が抱える課題解決にも取り組むことにより、区民主体のまちづくりを推進することができ、行政と協働のまちづくりに貢献しています。 ●まちづくり協議会の構成委員の高齢化が進んでいることから中長期的活動の継続性を図るためには世代交代と後継者育成が必要です。 ●社会状況の変化によって地域が抱える課題も変わるため、区民自身がより主体的にその解決に向けて取り組む必要があります。 							
予決算 (単位:千円)	H30年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,050	3,846	4,054	3,739	3,802	2,735	3,639	
	財源内訳	4,050		4,054		3,802		3,639	
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	4,050	3,846	4,054	3,739	3,802	2,735	3,639	

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民主体の組織であるまちづくり協議会が市民活動の場や運営資金の提供、情報発信等の支援を実施することにより、区内市民活動団体の活動が活性化され、地域のまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動の活性化を図るため、行政と連携・協働した事業を展開します。 ●区役所主催事業等への参画により、市民との協働のまちづくりを推進します。 ●地域に対する意識向上や魅力発見、まちづくりへの理解を深めるため、各種イベントや講座を開催します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成		4. 目標を下回った					
		2. 目標を上回って達成		5. 目標を大きく下回った					
		3. ほぼ目標どおり							
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●16の市民活動団体の育成を目的とした資金支援を実施しました。 ●まちづくり広報紙を全5回発行しました。(2号分を休刊、臨時号を1号発行) ●スキルアップ研修の実施(1回)と団体間の交流の場の提供(1回)による活動の活性化等を図りました。 ●区内市民活動団体の活動発表の場として、まちづくり広場ラブリみやまを2月にオンライン開催しました。 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	広報紙「まちづくり広場」の発行	目標	6	6	6			回
			実績	6	6	5			
	2 活動指標	まちづくり広場ラブリみやまの開催	目標	1	1	1			回
			実績	1	1	1			
3 成果指標	資金支援交付団体数	目標	20	20	20			団体	
		実績	21	20	16				
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	社会環境の変化に伴い、団体事務の適正化を図りました。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成28年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業を一部見直し、補助金を設置しました。 ・組織と事業の見直しを行い、広報紙の内容と発行回数を変更しました。 		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内市民活動の活性化のため、まちづくり協議会を通じた市民活動団体への情報や資金提供などの中間支援が必要であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新たな市民活動団体を支え、地域課題の解決につながる情報発信や資金支援などの活動を行っています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	団体組織の改革に併せて、事業の見直しも検討課題となっており、経費支出の改善につながる努力を続けます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後も、環境の変化に合わせた市民活動の活性化に係る資金や場の提供、情報発信等の支援を実施する必要があります。また、まちづくり協議会がこれまでに果たしてきた役割や成果、抱える課題等を踏まえ、将来的なあり方について、関係者との丁寧な対話などを通じた整理・検討を行います。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	15	まちづくり支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		滋野	65355	

事業の概要									
事業の概要		地域にとらわれない外部の立場からの提案や助言及び情報提供等は、区民との協働のまちづくりを推進していく上で必要不可欠であり、区民主体の組織である宮前区まちづくり協議会の活動が効率的・効果的になるよう側面から支援します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成20年度		—					
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> 適正かつ円滑な組織運営や会議進行等のための助言・提案等を受けることで、区民主体のまちづくりの推進につなげることが可能となります。また、区内で活動する市民活動団体に対し、効果的な情報発信や交流促進の方法、後継者育成等の課題解決に役立つ情報やアドバイスを専門的見地から提供していくことが可能となります。 まちづくり協議会委員・メンバーの構成、年齢、経験等を踏まえた、協議会活動の継続性や、まちづくりに係る状況変化に対応した、適切なコンサルティングが求められています。 							
予決算 (単位:千円)		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額 決算額		予算額 決算額		予算額 決算額		予算額 決算額	
事業費		3,048 3,047		3,104 3,102		4,302 2,761		2,838	
財源内訳									
国庫支出金									
市債									
その他特別									
一般財源		3,048 3,047		3,104 3,102		4,302 2,761		2,838	

計画 (Plan)	
事業の目的	●市民活動団体の相談対応、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等ができる事業者にコンサルティング業務を委託することで、宮前区まちづくり協議会の活動を側面から支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中間支援機能を持つまちづくり協議会が円滑に活動できるよう適切なコンサルティング業務を行います。 ●まちづくり協議会の各部会等の会議やイベント等の運営支援を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	年間約50回の会議に参画し、企画支援、市民活動の活性化のためのノウハウ・資料の提供、行政への助言の他、チラシ、ポスター作成支援など、まちづくり協議会の適正な活動につながる支援を行いました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1					目標				
						実績				
	2					目標				
						実績				
	3					目標				
						実績				
	4					目標				
				実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	中間支援組織としての「まちづくり協議会」の活動と、市民活動団体個々への資金支援や発表の場の提供のためには、専門的なノウハウと情報が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	まちづくり協議会に関わる活動のうち、コンサルティングに関わる活動を圧縮して経費削減に努めました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な市民活動団体に対して求められる支援策は絶えず変化しており、まちづくり協議会の適正な中間支援機能を支えていくためには、専門家による助言や情報提供、運営支援が必要であるため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	専門家による助言や情報提供、運営支援により、多様な市民活動団体に対して、まちづくり協議会による効果的な支援が行われているため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	まちづくり協議会の効果的な中間支援機能を支えていくために、専門家による助言や情報提供、運営支援の機会が増えており、また、働き方改革推進に向けた事務局負担軽減の観点からも見直しの余地は少ないものと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I まちづくり協議会の適正な組織運営や会議進行、団体支援等につながる助言や提案、情報提供等を得ることで、区内の地域活動の活性化が図られており、働き方改革の推進に向けた事務局負担軽減の観点等も踏まえて今後も事業を継続していく必要があります。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	20	みやまえスポーツふえすていばる開催事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		加藤	65351	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●地域で行われているソフトボール、バレーボールやドッジビー等のスポーツ大会を企画し、実施することで競技レベルの向上を図るとともに、チームを越えた区民同士の親睦の場を創出します。 ●地域スポーツを促進し、区民がスポーツに触れる機会の拡充を図るために、自主的に行われているスポーツ大会を区長賞の贈呈により支援します。 							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成3年度		—					
地域の課題と現状		地域で支え合うまちづくりは、非常に重要ですが、区民同士が知り合いになる機会が不足しているため、スポーツを通じて、区民同士が交流できる機会を創出し、地域の活性化やコミュニティを形成していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,003	1,815	1,979	1,819	1,956	576	1,872	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,003	1,815	1,979	1,819	1,956	576	1,872	

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域でのスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士が交流を深めスポーツ等に親しむ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	女子バレーボール大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区)、ドッジビー大会(宮前区・宮前地区・向丘地区)、歩こう会(宮前地区・向丘地区)、ディスカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区)、区長賞贈呈、AED貸借

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		目標どおり達成できました。 各種大会、歩こう会、ディスカバーウォークについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、参加者数は減っていますが、その代替取組としてこれまでの参加チームにドッジビーのディスクやバレーボールの配布を行い、普及啓発を行いました。また区長賞についても3団体(4大会)に交付しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	全参加者	目標	1,500	1,500	1,500			
				実績	1414	1220	0(中止)			
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子どもが外で遊ぶ機会の減少。また新型コロナウイルス感染症の影響による、地域コミュニティの減少。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成29年度からフットサルからドッジビーへ事業内容の変更を行い宮前・向丘地区大会、区大会を実施しています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域コミュニティの希薄化が年々進んでいるため、ニーズは高いと思われます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ドッジビーやバレーボールの用品配布については全チームから「今後も配布を行ってほしい」との反響があり、今後の大会参加にもつながると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	委託団体と協議を行い、新たな生活様式に対応した実施内容等を企画します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
各種大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、用品の配布など代替手段を実施しました。今後も幅広い世代・地域の区民に参加してもらうため、開催の方法等を見直ししながら、事業を継続することが必要と考えます。(ウイズコロナの中で、感染防止対策を第一に状況に応じて適切に実施します。)		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	25	多様な主体が参画する子どもあそびランド事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課		戒田	888-3911	

事業の概要									
事業の概要		遊びを通じて子どもと中高生・シニアなど世代間や多様な市民の交流を図るため、「夏休み子どもあそびランド」を実施する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		平成23年度		—					
地域の課題と現状		多様化する地域課題の解決に向けて、遊びをキーワードにした世代間交流や多文化交流の場を提供することにより、多様な市民による、活性化した地域コミュニティを創造する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	580	559	595	593	595	0	569	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	560	559	595	593	595	0	569	

計画 (Plan)	
事業の目的	小学生・中学生・高校生・大学生・成人・高齢者・障がい者といった多様な市民同士が交流する場の提供を目的とします。
今年度の事業の取組内容	イベントは、夏休み期間中の日曜日に市民館全館を使って開催し、日本に古くからある遊びや、缶バッジづくり、舞台での活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		●8月23日(日)に宮前市民館全館を使って開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 ●代替イベントとして、同日に「特別企画 ホールで紙飛行機を飛ばしてみよう」を開催し、多世代交流と夏休みの思い出づくりを目的に、地域のボランティアによる紙飛行機のワークショップと非日常空間である大ホールでの遊び体験を行いました。(来場者約200人)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標	来場者数	目標	3,000	3,000	3,000		人
				実績	3,300	3,300	0(中止)		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域におけるつながりづくりが求められており、幅広い年代の企画委員への参加や、子どもたちに多彩な遊びを提供し、継承できる新たな若い世代の遊びの達人の発掘、育成が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和3年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新型コロナウイルス感染症対策として、次の見直しを行います。 ●遊びのコーナーに定員を設け、事前申込制とします。 ●申込制による機会の減少を補うため、開催を1日から2日間とします。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い年代・多様な立場の市民が地域で交流することは、引き続き重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	企画委員、遊びの達人及び学生ボランティアを新規に集めることで、新たな交流を生み出しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	企画運営委員会に委託する現在の方式が、区内の多様な人材の参加を得る上で望ましいと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き、多様な人たちの交流の機会となるよう、内容や方法を工夫しながら事業を継続します。また、交流を広げ、地域コミュニティ創造の一助とするために、企画運営委員会や遊びの達人、サポーターの新たな人材を募集します。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	30	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691750		まちづくり推進部生涯学習支援課			戒田	888-3911

事業の概要									
事業の概要		地域人材の育成と活用を進めるため、地域人材育成指針の策定に基づき、区役所各課が連携したモデル事業を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		区の事業実施に必要な人材や市民活動の担い手の確保が難しく、地域への広がりが弱い状況にあることから、講座等を通じて育成した人材を実際の活動につなげ、活用していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	192	145	143	16	143	7	129	
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	192	145	143	16	143	7	129	

計画 (Plan)	
事業の目的	行政が市民と協働で実施するための、地域で活動する人材を育成することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	様々な市民が地域活動に関ることのできるテーマを設定し、実践的な内容の講座を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		危機管理担当と連携し、災害時に地域で活動できる人材の育成を目的とした「災害が起こった時に自分たちが地域でできること」を企画し、1月14日から全3回の講座の開催に向けて準備を進めていましたが、開催直前に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、中止しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	講座実施数	目標	1	1	1		回
				実績	1	0	0(中止)		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域人材の担い手不足による高齢化、固定化が進んでおり、新たな人材の発掘・育成を進める必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		毎年度、様々な地域活動の中から事業内容を検討しています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域活動や市民協働に向けた地域の人材育成は、継続的に取組む必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	事業趣旨に沿った実践的な内容であり、関係課が連携した取組みにより課題を共有することができましたが、人材育成のための講座は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係課と連携し、有効な手法について検討していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
関係課と連携・協議しながら、地域活動への参加と地域の人材育成に向けて、引き続き事業を継続します。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	35	市民活動支援拠点のネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		滋野	65355	

事業の概要											
事業の概要		市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や、団体相互の交流促進を図るため、区民活動支援コーナー等の運営支援、情報発信を行います。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費			
		平成22年度		—							
地域の課題と現状		地域のコミュニティづくりを進めるにあたり、市民活動団体の活動は重要な役割を担っているが、活動場所の確保や情報の発信、他団体との連携において、その機会や情報が不足している状況にあります。									
予決算 (単位:千円)	H30年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費		571	493	451	421	390	378	357	
		財源内訳									
		国庫支出金									
		市債									
		その他特財									
		一般財源	571	493	451	421	390	378	357		

計画 (Plan)	
事業の目的	市民活動の活性化のため、区役所、市民館及び子ども文化センター等にある市民活動拠点の周知や、活用の促進を図るとともに、施設機能面での充実を進めます。
今年度の事業の取組内容	各支援コーナーに対し、印刷機器賃借料支出等の運営支援を行います。また、各支援コーナー等の利用率が横ばい傾向にある中、市民活動拠点の情報をホームページに掲載するなど、稼働率アップに向けた情報発信を行います。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	コロナ禍により使用上の制約等がある中で、市民活動の活性化のため、各支援コーナーに対して印刷機器賃借料支出など、適正な運営支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー登録団体数	目標	70	70	70		団体
			実績	73	69	62		
	2 成果指標	宮前区役所区民活動支援コーナー稼働率	目標	50	50	50		%
			実績	41	38	25		
3 成果指標	向丘地区区民活動支援コーナー登録団体数	目標	40	40	40		団体	
		実績	41	41	36			
4		目標						
		実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域の課題が複雑化していくなか、市民活動団体の重要性が増してきていることに伴い、活動場所や情報を提供する支援コーナーの必要性も増えています。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施(直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍により直近での登録団体数や稼働率は減少していますが、各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体のニーズは高いものと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各支援コーナーの会議室、印刷機等の利用団体は多く、市民活動の活性化につながっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各支援コーナーの管理運営については区民主体で行っており、予算のほとんどが印刷機のリース代ですが、仕様の見直し(経費削減)に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		市民活動の活性化には、印刷機などの活動資本や会議室など場の提供は必須であるため、仕様の見直し等に努めながら今後も継続していく必要があります。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	40	みんなの道路公園事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			696100		道路公園センター		小瀧	75560	

事業の概要									
事業の概要		快適環境の維持向上を図ることにより、公園緑地が「地域の庭」として愛着を持って利用され続けることを目指します。 ●管理運営協議会、公園緑地、街路樹等の愛護会及び町内会自治会との協働による清掃活動 ●区内小学校の協力を得て、公園緑地内の樹木への小学生による樹名板の設置作業 ●汚損や破損をした園名板の計画的な更新							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		28年度	—						
地域の課題と現状		地域に対する意識の希薄化、区民の高齢化等により協働の担い手不足が進行しており、地域コミュニティの活性化、協働の推進及び協働の担い手の育成が必要です。 区内約220公園のうち80公園程度の園名板が汚損や破損をしており、その更新が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	139	105	1,045	1,017	1,028	1,012	875	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	139	105	1,045	1,017	1,028	1,012	875	

計画 (Plan)	
事業の目的	公園のイメージアップに加え、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	●公園の管理運営協議会、公園、街路樹等の愛護会及び町内会との協働による清掃活動。 ●区内小学生による公園内の樹木への樹名板の設置作業。 ●汚損している園名板の更新。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		清掃活動については、宮前美しの森公園において、同公園愛護会との協働清掃を実施し、また、蔵敷公園の剪定講習会において、同公園管理運営協議会と空き缶、空き瓶等ゴミの清掃作業を行いました。樹名板の設置については、鷺沼公園において、鷺沼小学校の児童を対象に専門家の講師を招き、児童10名のほか保護者を含め15名の参加によりイベントを実施しました。汚損している園名板の更新については、小台西公園他4か所の更新を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	区民との協働による清掃活動回数	目標	3	3	3		回
				実績	3	2	2		
	2	成果指標	樹名板の取付参加者数	目標	20	20	20		人
				実績	21	12	15		
	3	成果指標	汚損している園名板の更新数	目標		5	5		基
実績					5	5			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の身近な問題解決に向けた区民参加、協働による取組及び地域への愛着の醸成が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	協働の担い手不足が進行しており地域コミュニティの活性化策の推進が必要です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	公園緑地の愛護団体が増加しました。また、樹名板設置の実施により公園や樹木への愛着が深まりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	協働清掃及び樹名板設置事業については、職員2名のみで実施しており、人員の削減は困難です。園名板の更新については、看板の作成のみを業務委託し、設置工事は職員が行うことで、経費を抑えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 今後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りながら、区内の公園緑地における愛護団体や町内会等との協働清掃及び小学校の児童による樹名板の設置イベントを行い、また、園名板の計画的な更新により、公園のイメージアップを図るとともに、愛護精神に基づく公園の管理活動の一層の推進を図ります。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	45	町内会・自治会加入促進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		森山	65351	

事業の概要										
事業の概要		<p>●区内の町内会・自治会の加入促進活動を支援するため、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「宮前区 町内会・自治会ガイドブック」を改訂・増刷し、宮前区への転入者に区民課窓口で配布します。</p> <p>●令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート結果を踏まえ、将来の地域活動の担い手である子育て世代に向けたリーフレットを制作し、地域のさまざまな活動で配布することで、町内会活動への共感を促し、加入促進につなげます。</p>								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業				
		平成28年度	—							
地域の課題と現状		町内会・自治会は、地域のコミュニティ形成における中心的な役割を担っており、高齢者や子どもの見守り活動、自主防災組織の設立・運営など、安心・安全なまちづくりを推進していく上で、非常に重要な役割を果たしています。一方、町内会・自治会役員の高齢化や担い手不足などが課題となっているほか、町内会・自治会への加入を負担と感じる世帯が増えるなど、市民のコミュニティに対する意識が変化してきています。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	281	281	281	396	497	538	476	
		国庫支出金								
		市債								
その他特財										
一般財源	281	281	281	396	497	538	476			

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者の見守りや災害時の助け合いなど地域の支えあい大きな役割を果たしている町内会・自治会への加入を促進し、区民が地域でつながり、心豊かに安全・安心な生活を送れるように支援します。
今年度の事業の取組内容	宮前区全町内・自治会連合会との意見交換を踏まえて「町内会・自治会ガイドブック」を改訂(増刷)し、区内への転入者に向け配布します。また、令和元年度に実施した子育て世代へのアンケート調査結果を踏まえたリーフレットを制作し、区内各地での多世代交流イベントなどでの配布を通じて、町内会・自治会と子育て世代との接点を増やします。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		地域の情報を必要とする転入時というタイミングを捉えて、全ての転入者に「町内会・自治会ガイドブック」を配付することで、的確に町内会・自治会に関する情報を提供できるようにしました。子育て世代が町内会・自治会に関心を持つきっかけとなるよう、子育て世代向けのリーフレットを制作し、イベント等で配布を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	町内会・自治会ガイドブックの作成				目標	12,000	10,000	7,000	部
						実績	12,000	10,000	7,000	
	2					目標				
						実績				
3					目標					
					実績					
4					目標					
					実績					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、子どもから高齢者を含めた多世代での支え合いは大切なものであると改めて見直されてきており、地域コミュニティの中核を担っている町内会・自治会の重要性も増えています。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	R2年度・R1年度に子育て世代向けに実施した調査結果を基に、子育て世代の暮らしの視点から町内会・自治会の活動を紹介するリーフレットを作成し、町内会の加入促進について支援を行いました。 H30年度「町内会・自治会ガイドブック」の仕様について、町内会・自治会関係者の意見を踏まえて見直し、また全転入者に対して配布できるよう改善しました。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市では地域包括ケアシステムを推進しており、少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、支え合いは大切なものであると改めて見直されてきています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	全ての転入者に配布していることで、町内会・自治会に関する問い合わせも多く、一定程度の周知が図られています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	引き続き、町内会・自治会と連携しながら加入促進に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
町内会・自治会加入促進ガイドブックを作成・配布するとともに、子育て世代向けリーフレットの継続配布など、町内会・自治会加入促進に向けた支援策を検討・実施します。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	50	区民祭開催経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			松井	65111

事業の概要									
事業の概要		地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていくため、誰もが気軽に参加できる、区民の手づくりによる区民祭を開催します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		昭和57年度	—						
地域の課題と現状		少子高齢化の進行、核家族や単身世帯の増加、隣近所との関係の希薄化などの課題に対し、身近な地域での助け合いや地域課題の解決に協働して取り組む必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	252	252	245	245	245	0	245	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	252	252	245	245	245	0	245	

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育みます。
今年度の事業の取組内容	区民がより親近感や達成感を感じることができる区民祭の実施に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、実施方法等について検討します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全の確保が困難であることから事業を中止しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	開催回数	目標	1	1	1			回
				実績	1	1	0(中止)			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に現在の市民館・図書館が、鷺沼駅前に移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成26年度以降、会場を北部市場から宮前区役所及び宮前市民館に移し開催しています。 宮前市民館・図書館、宮前区役所の移転に伴う区民祭の開催方法等について今後検討が必要となります。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民祭への参加希望や開催日に関する事前の問合せは多く、また当日は多世代の区民が集まることから、事業のニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者の安全の確保が困難であることから事業を中止しました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民や地域団体と協働し、活気あふれる区民祭として発展させるため、前年度の課題を検証し解決に向け、取り組みます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
令和4年度に区制40周年を迎えます。区民祭は、歴史と伝統のある行事として区民に定着しています。また、多くの区民が交流の輪を広げ、活気あふれる故郷として発展している行事であることから、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、これまでの課題を検証し、見直しや改善を行いながら継続が望ましいと考えます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	30	26	15	05	健康づくり支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695130		地域みまもり支援センター地域支援課		三島	65522	

事業の概要									
事業の概要		健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民の健康づくりの実践を支援します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域の輪・健康づくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		宮前区は、男性の平均寿命が82.4歳、女性の平均寿命が88.4歳(平成27年市区町村別生命表 厚生労働省人口動態・保健社会統計室)といずれも全国10位です。また、全高齢者に対し介護保険で要支援以上の認定を受けている高齢者の占める割合が16.12%(令和元(2019)年10月1日現在)と市内で最も低いなど、元気な高齢者が多いためです。この長を維持していくためには、高齢者に加え若年層に対しても健康づくりの大切さを伝えていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	296	181	131	96	165	162	275	

計画 (Plan)	
事業の目的	高齢者だけでなく若年層も対象として、健康づくりに関する情報や地域の健康づくりの活動の場についての情報を発信し、区民が地域で主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。
今年度の事業の取組内容	身近な地域での住民同士の交流や健康づくりの活動の場として「公園体操」についての情報発信を行います。情報発信の手段の一つとして「宮前区公園体操マップ」を更新・増刷して配布します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●「宮前区公園体操マップ」を更新・増刷し、区役所内の区民の目が届きやすい場所に配架したほか、宮前老人福祉センターや地域子育て支援センターなど地域の関係機関にも配架しました。 ●宮前区全町内・自治会連合会からの課題提案を受け、民間活力も導入して作成・放映したテレビ番組「みやまご近動体操」の中で高齢者のフレイル予防に関する情報や公園体操について情報発信を行いました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	「認知症カフェマップ」の作成			目標 4,000				部
					実績 4,000				
	2 活動指標	「みやまご健康サポートブックこつこつ」の作成				目標 5,000			部
						実績 5,000			
3 活動指標	「宮前区公園体操マップ」の作成					目標 3,000		部	
						実績 3,000			
4					目標				
					実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の出現に伴い、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和 2 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		「宮前区公園体操マップ」に感染症予防に関する内容を追加しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の健康づくりの活動の機会が減少しているため、事業のニーズは高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	作成した冊子の配布が進んでいることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	発信する情報の更新や情報発信の方法の見直し等による改善を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 健康に関する社会環境の変化に対応することが必要であることから、事業の目的や方向性は維持するものの、情報の更新や情報発信の方法を見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための事業の縮小や中止等がある中、そのような状況においても、事業の目的を達成できるような様々な手法を検討しながら取り組みます。)		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	10	地域包括ケアシステム推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		仙石	65512	

事業の概要											
事業の概要		地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体と連携・情報共有する協働の取組を推進するとともに、区役所内各部署間の連携も強化し、地域包括ケアシステムを推進します。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域の輪・健康づくり事業					
		平成28年度	—								
地域の課題と現状		地域包括ケアシステムの推進にあたり、区民や区役所職員・関係団体の意識づくり、連携強化が必要です。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費		3,285	2,397	3,173	1,926	3,233	1,558	3,038	
		財源内訳		国庫支出金							
		市債									
		その他特財									
		一般財源		3,285	2,397	3,173	1,926	3,233	1,558	3,038	

計画 (Plan)	
事業の目的	地域包括ケアシステムの推進に向けて、区民や区役所職員の意識醸成と関係団体の連携強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルスの感染症の状況を踏まえ、ワークショップ等の対面での開催が必要な事業については、他の手法を検討するとともに、地域とのつながりが希薄にならないように努め、地域包括ケアシステムの意識醸成と啓発を図ります。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	ワークショップ等の開催を希望する団体はなかったため、オンライン開催も可能にするなど、コロナ禍で途絶えがちな地域のつながりを保ち、今後もつながる世代間交流を目指してクリスマスから新年に「ビデオレター」で区内の子ども・高齢者・障害者をつなぐ取組を行うなど、地域包括ケアシステムを推進しました。また、シンポジウムは、障害者をテーマに地域包括ケアシステム推進講演会として開催し、障害者への理解を深め、地域包括ケアシステムについて考える機会を提供しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	シンポジウムの開催	目標	1	1	1		
				実績	1	0	1		
	2	活動指標	ワークショップの開催	目標	2	2	2		
				実績	12	16	0		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	急速な高齢化が進む中、誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	行政主導でのワークショップ開催から、希望する団体へ随時講師を派遣する形に方法を見直したところ、団体のニーズに沿った内容の支援を数多く実施することができるようになりました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、今後も区内における地域包括ケアシステムの自助・互助に対する意識づくりや関係団体との連携が必要となるため、必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域づくりへの関心喚起・課題の共有・つながりづくりのきっかけとして、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係機関等と連携しながら、より効果的な支援方法等に関する検討を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 より多くの関係機関や地域活動団体、区民の方々が多様な連携を進めて活動に主体的に取り組めるよう、地域情報などに基づき、地域のニーズや地域課題に対応した活動のきっかけづくりを支援できるよう啓発を強化しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	15	しあわせを呼ぶコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要										
事業の概要		ベートーベンの第九を原語で合唱したいというある障害者の方の想いを受けて、区内在住の音楽家と福祉施設関係者等の尽力により、平成12年に第1回のコンサートとして実現しました。以降、ボランティア団体や関係者の連携とともに市の音楽事業の推進ともタイアップして宮前区主催、市民館大ホールを使用し、第一部は合唱、第二部はプロによる演奏で、地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に寄与します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業		
		平成12年度		—						
地域の課題と現状		毎年、本コンサートの実施に向けて、宮前区内の障害者施設は、宮前区障害者施設・作業所等連絡会として連携して活動し、自立支援と社会参画の推進のため、障害者の活動支援に取り組んでいます。本年で第21回目となり、地域に広く定着した事業ですが、区役所、連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組みます。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
一般財源	2779	2759	3,281	3,061	2,769	100	2,636			

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の障害者福祉事業として、障害者の自立支援、社会参画の推進へ向け、障害者の音楽活動を紹介するとともに、社会参加の機会を提供していきます。また、地域に暮らし集う方々の交流と相互理解の場としてコンサート事業として開催し、自立支援・バリアフリーといった福祉の増進を図ります。
今年度の事業の取組内容	実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年度第21回コンサートは中止となりました。また、次回開催に向け、コンサート業務に関するDVDを制作し各関係者等に配布し、令和3年度コンサート開催に向けた啓発業務を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	コンサート参加者・来場者総数	目標	900	900	900	500		
				実績	600	700	0(中止)			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		ノーマライゼーションの広がりの中で、区民をはじめ地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に向けて、音楽を愛する区民の賛同を受けて地域では定着したコンサート事業です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業の安定的継続へ向け、区役所・連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にするとともに、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	他に例を見ない宮前区独自の障害者福祉事業として実施します。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	合唱参加者、来場者ともに安定した実績を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業の安定的継続へ向け、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業を執行します。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	宮前区の障害者福祉事業として、地域に広く定着しており、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組みます。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	20	地域支援整備事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695130		地域みまもり支援センター地域支援課		曾我	65514	

事業の概要										
事業の概要		住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、行政のみでなく地域住民もそれぞれの役割を意識し、具体的な行動が取れるような地域支援体制の基盤整備を行う必要があります。そのためまず住民意識調査を実施し、その結果をもとに地域包括支援センター、町会・自治会、地区社協や民児協等の単位で啓発活動やワークショップを行いながら、住民の意識改革を推進し、地域包括ケアシステムの推進を図ります。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり事業		
		—		—						
地域の課題と現状		地域活動やボランティア等に自発的、積極的に参加する区民も多く、サロン等の「集まりの場」も増加してきているが、若い世代との交流や新たな担い手の発掘が課題です。また、高齢化が顕著で活動の担い手が少なく、課題は多いものの住民間で共有化や検討することも困難な地区もあり、地域間で課題内容に大きな開きがあることも特徴です。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	170	88	0	0	1,843	1,267	440		
財源内訳	国庫支出金									
	市債									
	その他特財 一般財源	170	88	0	0	1,843	1,267	440		

計画 (Plan)	
事業の目的	聖マリアンナ医科大学、田園調布学園大学との三者協定を活用し、具体的な取組みや活動で、区民の意識改革を進めることにより、地域包括ケアシステムを推進します。
今年度の事業の取組内容	三者協定の最終年度であり、平成29年度に実施した住民意識調査の結果をもとに再度調査を行い、地域住民や関係機関と地域の特性や課題を共有し自らが出来る事について考える動機づけを行った効果測定をするとともに、大学の知見を加え今後の地域包括ケアシステム推進に活かします。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		大学・区民と取り組んだ災害時保健医療と人のつながりづくりについて効果測定とヒアリングを行い、大学の知見を加えて、地域包括ケアシステム推進につながる啓発資料1,000部を作成しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1		目標							
			実績							
	2		目標							
			実績							
	3		目標							
実績										
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域包括ケアシステム推進の取組に感染症予防対策を含めた啓発が求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 令和 2 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		三者協定を1年延長します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	感染症予防対策を踏まえた地域活動等の工夫が求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	取組の効果測定において意識の向上や活動の工夫が見られました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	三者協定の1年延長により、大学との役割分担による事務改善の可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	三者協定を1年延長し、作成した啓発資料を活用して地域包括ケアシステムを推進します。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	05	子育て情報発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		恩田	65513	

事業の概要

事業の概要	宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図るために、さまざまな広報媒体を活用して、子育てを行う一人ひとりに必要な情報を分かりやすく丁寧に知らせることにより、区民同士が助け合い、安心して子育てができる環境を整備することを目的としています。								
実施期間	事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業		
		—		—					
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区は0歳から14歳までの人口が多く、子育てに関する最新の情報を分かりやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える必要があります。 ●フェイスブック及びツイッターに加え、「みやまえ子育てガイドとことこ」冊子内に宮前区の子育て情報発信に関する電子媒体のQRコード等を掲載するなど、様々な広報媒体の特性を活かして効果的な情報発信を行う必要があります。 								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,071	1,661	1,425	1,877	1,468	1,144	1,309	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財			150	150	180	180	180	
	一般財源	3,071	1,661	1,275	1,727	1,288	964	1,129	

計画 (Plan)

事業の目的	多様な広報媒体を活用することで、宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安の軽減を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び増刷 ●ソーシャルネットワーキングサービスのフェイスブック及びツイッターによる情報発信

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂及び増刷をし、7,000部発行しました。また、広告募集をし、冊子内に掲載することで新たな財源を確保しました。 ●ソーシャルネットワーキングサービスのフェイスブック及びツイッターによる情報発信をしました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	成果指標 子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」の改訂(発行数)	目標	3,000	7,000	7,000	7,000	部
			実績	3,000	7,000	7,000		
	2	成果指標 フェイスブックによる情報発信(フォロワー数)	目標	1,250	1,290	1,400	1,410	人
			実績	1,263	1,342	1,383		
	3		目標					
実績								
4		目標						
		実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	情報発信の選択肢が多岐にわたるなか、より効果的な広報を検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直直)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」を、子育て当事者、障害支援に携わる専門家、子育て中の外国人市民を含む公募の編集会議を立ち上げ、区民の意見を取り入れ大規模に改訂しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民の意見を反映した冊子は、子育て当事者から支援者まで幅広く活用されています。また、フェイスブック等の電子媒体は、いつでも閲覧でき、時宜にかなった効果的な広報ができるため、さらなる活用の可能性があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育てガイドは、子育て当事者の意見を大きく反映して改訂し、これまで以上に活用されるようになっていきます。また、フェイスブックの閲覧数が増加し、多くの反響が得られるようになっていきます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	情報誌に広告を掲載するなど、制作費用を軽減しながら作成します。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	印刷物については、部数の適正化を図りつつ、適宜、内容の見直しを実施し、発行します。また、電子媒体については、各ツールの特性を活かしたさらなる活用を図ります。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	10	宮前区子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当		山下	65706	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援拠点の充実を図り、育児力の向上と孤立化を防ぐための仲間づくりを目的として、公営保育所が中心となり、区内民間保育所や地域の人材、関係機関と連携を図り、子育て支援事業を展開します。 ●地域みまもり支援センターにおける連携の中で、必要な情報を共有し、地域の子育て家庭への支援体制の強化を図ります。 ●令和元年度から、子育て支援、公民の連携、人材育成研修等の主たる事業は、令和4年度開設予定の保育・子育て総合支援センターとしての業務を踏まえ、こども未来局の「公立保育所運営事業」として実施します。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成19年度	—						
地域の課題と現状		子育て家庭の転入者が多く、0～2歳児の在宅での子育ての割合が高い中、子育てに関する相談が増加していることから、育児への不安や孤立感を抱きながら子育てをしている家庭が多いことがうかがえ、在宅の子育て家庭にむけた子育て支援事業の充実を図る必要があります。さらにとどの地域でも均一な子育て支援の場を充実するために保育園専門職や子育て支援に関わる方たちの人材育成等、更なる仕組みづくりが課題です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,331	1,117	491	431	491	365	379	
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,331	1,117	491	431	491	365	379	

計画 (Plan)	
事業の目的	安心して子育てができる環境づくり、子育てを支援する体制づくり、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●公営地域子育て支援センター等を活用した子育て支援事業の実施。(食育講座、保育連続講座「親と子の子育て応援セミナー」、公営地域子育て支援センター土曜開所など) ●公営、民間保育所連携事業(連携会議や研修、派遣事業等の実施)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		コロナ禍で前半期の集合型の地域支援事業連携会議等の実施が出来ず、後半期は人数制限やオンライン活用での事業実施を行いました。以下の事業は内容を変更して実施しました。 親と子の応援セミナー 子育て支援施設への新規資料作成、配布4回、食育講座 個別相談会、公営・民間保育所連携会議 オンライン開催及びメールによる情報交換 公営・民間保育所人材育成 オンライン開催等							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	「親と子の子育て応援セミナー」	目標	9	11	8		回
				実績	9	11	6		
	2	活動指標	食育講座「にこにこもぐもぐ」	目標	15	17	13		回
				実績	17	16	11		
3	活動指標	公営・民間保育所連携会議	目標	35	33	33		回	
			実績	35	33	22			
4	活動指標	公営・民間保育所人材育成	目標	70	80	80		回	
			実績	87	102	49			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域における育児力の低下に伴う子育て家庭への支援の強化が求められています。また、民間保育所の増加に伴う保育の質の確保などのため、研修等を通じた区内保育所等への支援が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		「新たな公立保育所の機能(地域の子ども・子育て支援、民間保育所等への支援、公・民保育所人材育成)の推進にむけて、予算を増額しました。 こども未来局予算と区の地域課題対応事業費による事業の整理を行い、区事業としては、予算額を減額しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	継続的な民間保育所の増加や、子育て支援事業へのニーズが引き続き高いことから、事業の必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加者の増加など、ニーズの高さが数値から読み取れることから、成果が上がっていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	地域や各保育施設のニーズを、日々の状況や活動等により適格に捉えた企画の立案や実施、公営保育所の専門性を活かした事業であり、地域での連携が要であり、委託等は適さないと考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II ●子育て支援事業は、民間保育所との更なる連携強化により、引き続き子育て支援事業の拡充を図ります。 ●子育て支援、公民保育所等の連携、人材育成研修の実施について、公立保育所や保育・子育て総合支援センターが担う民間保育所支援や人材育成の役割として全市で積極的に実施していくため、令和元年度よりこども未来局の「公立保育所連携事業費」において取組みを実施しました。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	15	子ども支援ネットワーク事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			恩田	65513

事業の概要									
事業の概要		子どもたちの健やかな成長を支え、区における子育て支援を地域社会全体で推進するため、地域の関係者が連携して情報共有及び意見交換を行い、乳幼児期から青年期までの子どもたちへの連続した支援体制として、子ども支援に関わるネットワーク会議等を開催します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		宮前区は地形的に山坂が多いことを踏まえ、どの地域からも子育て支援を受けやすくすることが求められています。また、0歳から14歳までの子どもや子育て世代の転入者が多いことから、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安の軽減など、安心して子育てができる環境の整備が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	401	303	218	121	225	89	204	
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	401	303	218	121	225	89	204	

計画 (Plan)	
事業の目的	区における子育てを地域社会全体で支えるために、地域の関係者が連携し、様々な子どもの問題を解決・改善するために、関係機関・団体間の情報共有やネットワークの強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	宮前区子ども・子育てネットワーク会議等を開催して、ネットワークの強化を行います。また、各子育てグループ活動状況を把握し、関係団体・機関に情報発信することで、子育て世代と地域とのつながり強化を図ります。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区子ども・子育てネットワーク会議7月30日開催(新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回会議は中止) ●子育て支援関係者連絡会 年3回開催 ●子育てグループ交流会5月29日(新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止) ●うるかむクラス6月12日、19日、26日(新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止) 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	宮前区子ども・子育てネットワーク会議の開催	目標	2	2	2			回
			実績	2	1	1			
	2 成果指標	子育てグループ交流会	目標	30	30	30			人
			実績	17	16	0(中止)			
	3 成果指標	転入者のための交流会(うるかむクラス)	目標	100	100	100			人
実績			154	176	0(中止)				
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代の転入者増加に伴い、出会いの場の確保が継続に必要と考えられます。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 29 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		イベントを事務局と一部の実務団体のみで担っている執行体制の見直し及び広報の見直しを実施しました。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもを取り巻く環境が日々変化する社会環境において、事業のニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育て世代がつながる機会を確保することにより、グループ同士の情報共有が図れており、事業の有効性はあると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	開催方法及び広報について見直し、事業を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子育て関係団体の更なる連携強化や、地域とのつながりを求める子育て世帯のニーズに合ったイベント運営が必要のため、事業の目的を確認し、実施方法の改善を図りながら事業を継続していくことが望ましいと考えます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	20	子ども包括支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地域みまもり支援センター学校・地域連携担当		菊地	65703	

事業の概要

事業の概要		「子どもサポート南野川」では、不登校・引きこもりなどの課題を持つ子供たちと保護者の居場所づくりや生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、就学児童から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を行います。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		平成21年度		—							
地域の課題と現状		核家族化の進行と育児不安を抱える親、不登校やひきこもり、そして社会に適應できない子どもとその保護者の増加など、子ども子育て環境は大きく変化しており、課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活支援、相談支援など、包括的な子ども子育て支援を進めていく必要があります。									
予決算 (単位:千円)		年度		H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		国庫支出金		5,639	5,586	5,813	5,754	5,858	5,801	5,606	
		市債									
		その他特財									
		一般財源		5,639	5,586	5,813	5,754	5,858	5,801	5,606	

計画 (Plan)

事業の目的	子どもの成長に合わせたトータルサポートの実現や、課題を持つ子どもたちへのきめ細やかな対応による不登校・引きこもり状態の長期化の予防などを地域社会の課題として捉え、行政、地域、関係機関が連携して問題解決を目指します。
今年度の事業の取組内容	課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援を業務委託により実施します。 生活・学習支援(常時)、相談業務(常時)、運営会議(年2回)、保護者の会、進路学習会、情報交換会、見学会

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●学校担当者会1回、学校等関係機関との情報交換会4回、保護者の会として「進路について考える会」や個別相談を実施 ●各教科の学習指導、理科教室、進路学習等実施 ●農作業や体験学習、ふれあい活動の実施 ●医療機関との連携によるカンファレンス実施 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	運営会議	目標 2 実績 2	2	2	2	
	2 活動指標	情報交換会	目標 2 実績 2	2	3	4	
	3 成果指標	子どもサポート南野川利用人数 (不登校支援に係る小・中・高校生延べ利用人数)	目標 1300 実績 1507	1300	2286	1525	
	4		目標 実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	不登校は、学校における友人関係や学業不振等のほか、本人の不安・抑うつ傾向、家庭の問題等、学校以外の要因が絡み合って多様化し、増加傾向にあります。その背景が多様・複雑であることから、児童相談所、医療機関等の関係機関と連携し、家庭の状況や本人の気質等を把握した上で、適切な支援を行う必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	所管課を地域ケア推進担当から学校・地域連携担当に変更し、学校との情報共有と連携の一層の強化を図ることで、不登校になった児童生徒へのよりきめ細やかな対応や支援を行えるようになりました。令和2年度は医療機関との連携を図り、カンファレンスを実施しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いじめや不登校、家庭の環境の変化等、児童生徒を取り巻く状況は深刻化しており、児童生徒のみならず家庭教育に悩みを持つ保護者への教育相談の必要性が増していると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	不登校に関する相談だけでなく、学校生活や家庭で児童生徒・保護者が抱える様々な課題に応じた相談の件数が増加しています。その背景や要因は様々であり、学校との連携及び関係機関との連携により適切な支援を行うことにより課題の解決につながっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	不登校等の子どもが抱えている問題は、多様化・深刻化する傾向にあり、様々な悩みを抱える児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応する必要があることから事業の目的や方向性を維持したまま、学校や関係機関と連携を強化しながら継続することが適切であると考えられます。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	25	子ども自然探検隊事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		仙石	65512	

事業の概要									
事業の概要		宮前区内に残された自然の中で自然観察、森・里山遊び、農作業等を体験する機会を作り、自然に関心を持ち、自然に親しみ、自然を大切にする気持ちを育てます。また、その自然を守り育む活動をしている大人たちと交流することにより、地域社会の世代を超えた人と人の連帯感の醸成を図り、将来的な地域コミュニティの活性化につなげます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業				
		—	—						
地域の課題と現状		事業実施にあたっては、子どもたちが安全に参加できるよう、地域の自然や地理・地形に精通し、子どもたちへ、これらの豊富な指導経験を持つスタッフによる対応が不可欠です。これまでの成果を踏まえ、自然を利用した活動を行う他の事業及び地域団体との連携することでプログラムの更なる充実や多世代交流の促進が見込まれます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	103	89	162	60	129	34	90	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	103	89	162	60	129	34	90	

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の自然環境を利用した森・里山遊び等によりといった自然と触れ合うことで、自然を大切にする心を育てるとともに、自然保護活動に携わる大人たちとの交流する機会を持ち、将来的な地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、参加者同士の距離、募集人数、開催日など 生田緑地内のおんもり谷戸を活用し、森遊びや森探検をプログラムとした自然体験イベントについて、地域団体と開催できるよう検討します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		5	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		森遊びや森探検をプログラムとした自然体験イベントについては、自然保護活動に携わる市民の方と実施方法等を調整していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言等の要請に鑑み、事業を中止しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	自然探検隊の実施	目標	3	4	4		
				実績	3	1	0(中止)		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		外遊びの需要は高まりを見せており、区内の自然を活かした貴重な体験の場となっています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)令和 元 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		地域包括ケアシステムの推進につながる効果を見極めつつ、実施方法を委託形式から講師を招いての自主運営方式に変更するとともに、実施回数や開催場所等について、見直しを行っています。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、外遊びの需要が高まっているなかで、区内の自然を活かした貴重な体験の場となります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	例年参加希望者は定員を上回る申し込みがあります。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	プログラムの更なる充実に向け、これまでの成果を踏まえ、他事業との連携について、検討の余地があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域包括ケアシステムの推進につながる効果を見極めつつ、これまでの成果を踏まえ、自然を利用した活動を行う他の事業及び地域団体との連携を検討し、開催できるよう検討します。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	30	友好都市交流事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		松井	65351	

事業の概要									
事業の概要		平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業は、宮前区の子どもたちに、長野県佐久市での自然体験を通じて里山の保全や都市農業の重要性などを学んでもらうことを目的としています。体験研修のプログラム作りや、引率などを主体的に行うことができる市民活動団体に事業を委託しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区には比較的多量のある緑が存在しているものの、全体的には樹林地や農地は減少傾向にあり、子どもたちが自然体験や農業体験をすることを通じて、将来に向けて里山や都市農業などの保全について理解を深めてもらう必要があります。 ●佐久市との友好都市締結から15年以上が経過し、両都市の置かれた状況も変化しています。 							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	487	456	485	457	485	0	457	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	487	456	485	457	485	0	457	

計画 (Plan)	
事業の目的	交流を進めることで、両都市の友好関係を深めると共に、宮前区の魅力である豊かな自然や観光資源などについて再認識してもらい、地域への愛着を通じて更なる魅力づくりにつなげてもらえるようにします。
今年度の事業の取組内容	民間交流事業(子ども自然交流事業)として、長野県佐久市での自然体験・農業体験等を実施します。新しい生活様式を踏まえた実施方法等について検討する必要があります。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	5 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、友好都市である佐久市での子ども自然交流事業については中止となりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1							
		目標						
		実績						
	2							
	目標							
	実績							
3								
	目標							
	実績							
4								
	目標							
	実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		都市における公園やオープンスペースの防災面での役割や、緑の保全や都市農業に対する関心は一層強くなっており、引き続き友好交流を通じた取組の必要性があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		物産観光交流事業を宮前区民祭実行委員会の事業として実施することになりました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	宮前区の魅力である豊かな自然や都市農業に対する関心は近年高まってきており、友好都市での自然体験のニーズに変化はないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業は中止となったが、例年、本事業は区内で活動する市民活動団体に委託して実施しており、交流の積み重ねによる活動の広がりや宮前区での活動への効果などが上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の実施方法変更等により、引き続き経費削減に取り組みます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	友好都市での自然体験のニーズは一定あると考えられるものの、新しい生活様式を踏まえて実施方法等について検討する必要があります。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	35	冒険遊び場活動支援事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課			斉藤	65513

事業の概要									
事業の概要		思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境を確保するため、現在では6団体が実施団体登録をし、地域において公園というオープンスペースを活用し、定期的に遊ぶことができる場を提供しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		現代の子どもたちは自由に遊べる空間が不足しており、公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、地域コミュニティの更なる活性化と次世代育成の場づくりを推進する必要があります。公園を地域コミュニティの拠点として機能させるには、乳幼児からシニア世代まで幅広い年齢層の多くの人が気兼ねなく集い、利用できる工夫が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	701	681	606	591	600	595	597	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	701	681	606	591	600	595	597	

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちが思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境の確保及び小地域での多世代交流が期待できる事業を推進することで、地域コミュニティの活性化につなげます。
今年度の事業の取組内容	必要な遊具や物品の貸出、月1回のネットワーク会議の開催等の地域主体の活動支援、普及啓発のためのシンポジウム、ブラッシュアップ研修の開催及び広報用リーフレットの配布をします。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		登録されている6団体が各公園で定期的に冒険遊び場を開催し、多世代交流の場として活動を行いました。また、出張冒険遊び場は新型コロナウイルス感染症による各種イベント中止に伴い実施不可でしたが、シンポジウムを1回開催するとともに、広報資料として作成したリーフレットを関係機関に配布するなど、普及啓発に関する活動を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	冒険遊び場活動団体のネットワークへの登録団体数	目標	6	6	6		数
				実績	6	6	6		
	2	活動指標	ネットワーク会議の開催	目標	12	12	12		回
				実績	12	12	12		
	3	活動指標	シンポジウムの開催支援	目標	1	1	1		回
実績				1	1	1			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られていますが、多世代交流の場として、より一層の普及が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		出張冒険遊び場として活動していた公園が、正式に登録団体として活動を始めたので、新たな公園での出張冒険遊び場開催に向けて取り組んでいきます。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園の利用活性化を促し、子どもの育ちを支援する活動に貢献しており、事業のニーズが高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続的な活動及びシンポジウム等の開催により、コミュニティの活性化にも繋がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	冒険遊び場の実績とノウハウを持つ区内の市民団体に支援事業の委託を行っており、民間事業者への委託では得られない高い効果を最低限の経費で実現しています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
幅広い世代の憩いの場として公園の活用が進むなかで、子どもの自由な発想や遊びを支援できるよう必要な改善や見直しを進め、地域の理解を得ながら継続していくことが望ましいと考えられます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	05	安全安心まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		濱屋	65352	

事業の概要																		
事業の概要			<ul style="list-style-type: none"> ●安全安心に関わる様々な分野の団体が構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。 ●パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の活動を支援します。 ●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。 ●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。 															
実施期間			事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業費												
地域の課題と現状			地域での結びつきが希薄になっていく中、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を浸透させ、地域内の結びつきを強くするとともに、地域での活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。															
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度									
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額								
			1,695	1,580	1,846	1,713	1,845	1,431	1,766									
財源内訳	国庫支出金	市債	その他特財	一般財源	1,695		1,580		1,846		1,713		1,845		1,431		1,766	

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していきます。 ●地域防犯活動を支援するため、地域の自発的な活動を支援します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動への支援 ●地域パトロールや落書き消し等の支援 ●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進 ●啓発看板等の維持管理 ●中学生を対象としたスクエアドストレート方式交通安全教室の実施

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	4		1. 目標を大きく上回って達成		4. 目標を下回った		2. 目標を上回って達成		5. 目標を大きく下回った	
取組内容の実績等	スクエアドストレート方式交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校側からのキャンセルがあり、1校での実施となりました。また、保育園、幼稚園及び小学校における交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンセルを申し出る園・学校が多く、目標を下回る44件の実施となりました。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位			
	1 成果指標	スクエアドストレート方式交通安全教室の実施	目標	3	3	3		件		
			実績	3	3	1				
	2 成果指標	保育園・幼稚園及び小学校における交通安全教室の実施	目標	75	75	75		件		
			実績	76	79	44				
3		目標								
4		目標								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	未成年が加害者になる自転車死亡事故も発生しており、より継続的な交通安全教育が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	交通安全教室の講義については原則放送室から各教室へのライブ配信とし、自転車教室の実技を、見本を示す方式に変更するなど、新型コロナウイルス感染症への感染対策の徹底を図りつつ、より分かりやすいものとなるよう内容の見直し及び改善を行いました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高齢者の引き起こす交通事故の発生や、社会情勢に応じた新たな特殊詐欺の手口が常に発生しているため、事業に対するニーズは増えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	スクエアドストレート方式の交通安全教室で実施したアンケートや、交通安全教室を実施した小学校等からのアンケートにより、高い有効性があるものと認められます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係団体、委託団体等とより細かく連携することにより、効率性を高める余地はあります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 本事業は地域の自主的な活動を支援することにより、区内の安全安心を推進する事業であることから、地域の実情に応じたきめ細やかな支援を継続的に行うことが必要であり、現状の支援体制を維持し、活用することが必要です。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	10	子ども安全・安心見守り事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		斉藤	65513	

事業の概要									
事業の概要		宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の設立総会にて、宮前区PTA協議会から提案があり、部会組織として同日に設置しました。宮前区安全・安心まちづくり推進協議会総会と同時開催し、活動報告、活動計画を共有することにより、区全体で安全・安心のまちづくりを推進しています。また、各小学校の見守り活動(パトロール)等の状況(登下校時や、長期休み等における実施内容)を報告するなど、情報交換を行っています。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業	
		—		—					
地域の課題と現状		子どもたちの安全・安心を確保するために、関係機関、団体、地域住民等の連携強化を図るとともに、地域における子どもの安全に関する意識や子どもたち自身の危機管理能力を高めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	124	33	78	41	65	18	62	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	124	33	78	41	65	18	62	

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の学校、保護者、地域住民、事業者、関係団体、警察及び区役所等行政機関が相互に連携することにより、子どもを交通事故や犯罪から守り、登下校時等における子どもの安全の確保を図ります。
今年度の事業の取組内容	子ども安全・安心協議会の会議を開催し、情報提供および意見交換を行います。また、年度末に区内各校の子どもたちの安全に関するアンケートを実施し、取組状況を把握します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		子ども安全・安心協議会(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、総会を书面開催、3月に開催予定であった1回を中止)のなかで、各委員から宮前区内の安全に関する活動について情報共有を行い、地域全体で子どもの安全を見守る連携体制を整えました。また、区内各校の子どもたちの安全に関する取組状況をアンケートを実施のうえ把握し、郵送により情報を共有しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子ども安全・安心協議会の開催	目標	2	2	2		回
				実績	2	1	1		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域コミュニティの希薄化が問題とされている現代の社会環境のなかで、子どもたちの交友関係や、その周囲の環境に対する注目が集まってきており、子どもたちの安全を地域全体で確保することが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		子ども安全・安心協議会は、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の部会という位置付けであることから、親会議を所管する危機管理担当へ事務局を移管について検討しました。また、「地域安全マップづくり」への支援について、平成28年度から休止しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもの事件が多様化しているなかで、区内にある児童の安全に関わる団体が一堂に会し、情報交換を行う場として安全・安心なまちづくりに向けて重要です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	関係機関や学校等と情報共有及び連携を深めることで、犯罪防止の徹底に繋がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係者で協議を進め、会議のあり方や役割分担等の再確認を行います。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子どもを取り巻く環境が日々変化する中で、より一層地域で連携できる体制づくりを進めるために、会議のあり方や内容について検討し、安全・安心なまちづくりを目指します。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	15	防災意識普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		川里	65361	

事業の概要										
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●各種の防災意識普及啓発行動(防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。 ●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員の更なる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋がります。 								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費		
		平成20年度		—						
地域の課題と現状		大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせ、防災意識を向上させる取り組みを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費		2,512	2,216	2,405	1,748	2,265	793	2,076	
	財源内訳	国庫支出金								
市債										
その他特財 一般財源		2,512	2,216	2,405	1,748	2,265	593	2,076		

計画 (Plan)	
事業の目的	区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施。さらに「防災フェア」を実施。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●防災推進員フォロー研修を书面開催により実施。人命救助など、より実践的な内容の資料を作成して配布。 ●新型コロナウイルス感染症の影響により、防災推進員養成研修、防災フェアは中止。代わりに新型コロナウイルス感染症対策として、災害時の避難(分散避難等)に関する情報を町会掲示板に掲出し、広報啓発を実施した。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	防災フェア参加人数	目標	600	600	600		
				実績	600	0(中止)	0(中止)		
	2	成果指標	宮前区防災推進員登録者数	目標	540	580	620		
				実績	565	597	597		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により、研修や啓発イベントの開催が難しい環境となっている反面、地域における防災意識普及啓発へのニーズは高く、創意工夫により継続的な啓発事業の展開が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		コロナ禍でも防災啓発を継続するべく、研修を书面開催、フォロー内容の充実化	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いつ起こるか分からない災害に対して、区民からの防災意識普及啓発と地域防災力の維持・強化についてはニーズが高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	一部事業の中止に伴い目標値に達していない項目もありますが、より実践的な内容のフォロー研修を実施し、推進員の知識増による地域防災力の維持・強化に一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と相まって、研修や防災フェア等事業における役割分担や運営方法の一部見直しによる改善を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	Ⅱ	近年の災害被害の甚大化と相まって区民の防災に対する関心も高く、また、新型コロナウイルス感染症への対策も必要とされ、区民の防災意識と知識向上による地域防災力の維持・向上は必要であると考えられ、事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。
		Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	20	地域防災力向上事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		川里	65361	

事業の概要									
事業の概要		<p>●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項は、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報共有等を推進します。</p> <p>●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各部会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。9か年の計画により、各避難所に必要な備品を配備します。</p>							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費	
		平成24年度		—					
地域の課題と現状		<p>公共公益機関及び関係団体を構成員とする宮前区地域防災連絡会議において、各機関の担当が代わることにより、取り組みや連携の強化、向上を行う必要があります。</p> <p>避難所滞在環境改善のため、必要な備品の配備が必要です。</p>							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,450		1,254		1,528		1,300	
		1,450		1,254		1,528		1,300	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,450		1,254		1,528		1,300	
		1,450		1,254		1,528		1,300	

計画 (Plan)	
事業の目的	区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各部会における課題の検証と検討を行い、地域防災力を向上します。
今年度の事業の取組内容	避難所滞在環境改善のための「避難所備蓄エアマット」を配備します。

実施結果 (Do)											
上記取組内容に対する達成度		3		<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>							
取組内容の実績等		避難所備蓄エアマットの整備(8校)									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	避難所備蓄エアマット整備箇所数(全25箇所、3年計画を3サイクル)				目標	11	11	8	8
			実績	9	10	8					
	2						目標				
			実績								
	3						目標				
実績											
4						目標					
		実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により、避難所で必要とされる備蓄物品の種類・量も増えています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直しした履歴も記載できる場合は記載</small>		<p>●災害時パトロール用電動自転車の配備(～H27)</p> <p>●帰宅困難者及び徒歩帰宅者用の案内標識等整備(～H28)</p> <p>●避難所備蓄物品の充実(H26～継続中)</p>	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域防災力向上に向けて、地域住民の防災意識の高揚と行政の災害対応力強化の両面からアプローチしており、災害の激甚化や新型コロナウイルス感染症の影響と相まって、ニーズは継続して高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	現在進行中の避難所備蓄物品の整備について計画通りに進行しており、成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在進行中の避難所備蓄物品の整備に続き、将来的な事業手法と展開については、社会環境の変化や地域ニーズも踏まえつつ、見直し・改善を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 近年の災害被害の基大化と相まって区民の防災に対する関心も高く、また、新型コロナウイルス感染症への対策も必要とされ、地域防災力の維持・向上は引き続き必要であると考えられ、事業の目的や方向性は維持しつつ、具体的な事業の計画・運用面での見直し・改善を図りながら継続していくことが適切であると考えます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	25	次世代まちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		齋藤	65123	

事業の概要									
事業の概要		次世代につながる暮らしやすさの向上を意識した長期的な視点に立ち、地域住民・事業者・区役所との協働・連携により、宮前区の地域特性を踏まえた身近な生活課題の解決に寄与する地域主体の取組を支援します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業	
		平成27年度		—					
地域の課題と現状		地域を良くしたいと考える地域住民や地域貢献に意欲のある事業者等を区役所がつなぎ、それぞれの強みを活かした協働・連携を図ることにより、起伏に富んだ地形や高齢化の急速な進行といった宮前区の地域特性から生じる生活課題の解決につなげることが期待できます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特財 一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0

計画 (Plan)	
事業の目的	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する地域主体の取組を支援します。
今年度の事業の取組内容	坂が多い地区等に住む高齢者等の日常の買い物をしやすくするとともに、地域住民の見守り・支え合いにつなげるため、町内会館・自治会館等で地域住民が企業の協力を得て行う出張販売会の開催に向けて、関係者間の合意形成を図ります。(新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、出張販売会の開催について適宜検討します。)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		庁内の関係課、事業者、地域住民との連携により調整を重ね、関係者間の合意形成を図り、「市営高山団地集会所における住民主体の出張販売会」を毎週土曜日に実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に休止しています。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	次世代につながる暮らしやすさの向上に資する取組の実現に向けて取り組んでいる地区の数	目標	1	1	1		
				実績	1	1	0(中止)		
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域住民・事業者・区役所との協働・連携により、それぞれの強みを活かして柔軟に課題解決を図る事業の特性を活かして、社会状況の変化に臨機応変に対応します。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会状況の変化に臨機応変に対応できる事業スキームであるため、ニーズは薄れないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	庁内の関係課、事業者、地域住民との調整により、1地域において、出張販売会の実施について関係者間の合意形成ができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	予算措置のない事業であるため、契約方法や仕様の見直しなどによる経費削減の余地はありません。また、協働・連携の手法により、関係者間の丁寧な合意形成を行って進める事業のため、効率性の追求はなじまないと考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 地域の皆様から求められている取り組みであり、新型コロナウイルス感染症の影響下でも事業の継続が可能となるよう、検討が必要です。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	宮前区スポーツ環境整備事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		まちづくり推進部地域振興課			小林	65360

事業の概要									
事業の概要		西長沢公園多目的広場、鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業	
		平成24年度		—					
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツを楽しめる環境を整えるため、既存施設の補修・整備が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4568	4477	4,226	4,213	501	501	479	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	4568	4477	4,226	4,213	501	501	479	

計画 (Plan)	
事業の目的	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場で区民が快適にスポーツを行えるよう環境整備を行います。
今年度の事業の取組内容	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の補修を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の除草を行いました。 西長沢公園多目的広場については、県内広域水道企業団による耐震補強工事が行われていることから令和2年9月から供用を中止しています。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		神奈川県内広域水道企業団が実施する耐震工事に伴う利用停止により新たな場所の検討、今後の整備方針について検討する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	西長沢公園については、耐震補強工事中におけるダスト舗装の必要はなくなります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	市民が安全にスポーツを行うことができているため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	西長沢公園の耐震補強工事後は、修繕の効率化を図るため、道路公園センターに業務移管の予定です。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
鷺ヶ峰けやき公園多目的広場の保守については、引き続き必要と考えられます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	05	区役所庁舎エコ化事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		まちづくり推進部総務課			大谷	65111

事業の概要									
事業の概要		庁舎の省エネルギー化(照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発するとともに、快適な庁舎利用及びサービス向上を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明について対策が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,345	1,955	2,248	2,145	2,257	2,177	2,152	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	2,345	1,955	2,248	2,145	2,257	2,177	2,152	

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が省エネに関心を持っていただくのと同時に、より快適に庁舎を利用していただくようにします。
今年度の事業の取組内容	向丘出張所の蛍光灯をLED化します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		向丘出張所の蛍光灯を全フロアLED化しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	照明設備のLED化(蛍光灯型)	目標	101	45	168		本	
				実績	160	45	168			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。	
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	庁舎の省エネルギー化を推進し、また、LED化を行い照度が向上することで快適な庁舎利用サービスにつながっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所の消費電力は事業開始(平成22年度)から28%削減、向丘出張所の消費電力はLED化実施開始(平成31年)から2%削減されています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の取組の見直し(LEDの仕様、施工場所の変更等)を行うことで、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
事業の取組の見直し(LEDの仕様、施工場所の変更等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えます。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	10	みやまえロビーコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部地域振興課		岸本	65358	

事業の概要									
事業の概要		毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、ランチタイムの時間帯(12:05~12:45)に「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においては巡回コンサートとして開催します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業	
		平成5年度		—					
地域の課題と現状		市民にとって区役所等の行政施設は必要な各種手続き等を行う場所となっており、親しみも希薄な状況にあります。区役所に対するイメージアップを図り、区民の行政に対する意識や地域への関心等の向上へつなげます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2960	2592	2,035	1,694	1,985	88	1,627	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2960	2592	2,035	1,694	1,985	88	1,627	

計画 (Plan)	
事業の目的	主に区役所来庁者の事務手続き待ち時間等を音楽演奏によって潤いのあるひと時としていただくため、区民サービスの一環としてランチタイムコンサートとして開催します。音楽を通じて、行政施設に対する親近感を高めるとともに、地域コミュニティの拠点としての機能強化を図り、区民の憩いの場、交流の場として、気軽に、身近に上質な音楽と接することができるよう文化意識の向上につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、来場者の増加や区民の満足度を高めます。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、鑑賞される市民等の健康・安全の確保を第一に考え、各回の開催について施設管理者等、関係者を含めて慎重に判断を重ね、結果的に昨年度は、全回中止となりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	ロビーコンサート来場者数	目標	2,000	1,600	1,600	500	
				実績	2000	1700	0(中止)		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。今後も行政施設に対する親近感を高めるとともに、区民の憩いの場、交流の場として充実させます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		より上質で幅広いジャンルの音楽を区民に提供するため委託仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和2年度は全回中止となりましたが、毎回安定した来場実績を得ており、多くの来場される市民からも非常に高い評価を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民から高い評価を得ている事業のため、委託により事業を継続していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民サービスとして区民から高い評価を得ており、企画内容の充実に努めて事業を継続します。(新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、状況に応じて適切に実施します。)		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	15	宮前区役所BGM配信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		深澤	65112	

事業の概要									
事業の概要		区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげることを目的に平成14年10月から本事業を実施、区役所に設置している専用のスピーカーを用いてBGMを庁舎内に配信します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		平成14年度	—						
地域の課題と現状		区民課・保険年金課等の窓口来庁者の多いフロアを中心に受付待ちの時間が生じてしまうことが多くあります。特に繁忙期等は受付待ちが長時間にわたることもあり、そのことが来庁者のストレスとなってクレームや区役所イメージの低下につながる恐れもあります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	45	45	44	44	44	44	44	
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源		45	45	44	44	44	44	44

計画 (Plan)	
事業の目的	区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげます。
今年度の事業の取組内容	区役所庁舎内にBGMを配信し、区役所サービスの向上につなげます。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		目標通り達成できました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	年間を通した庁舎内のBGMの配信			目標	1	1	1	回(通年)
						実績	1	1	1	
	2					目標				
						実績				
	3					目標				
					実績					
4					目標					
					実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区役所庁舎内で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区役所サービス向上の要求は高まっており、事業の必要性も継続していると考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	BGMに対するクレーム等は出ておらず、ストレス軽減の効果は発揮されていると考えていますが、番号発見機モニター等のアナウンスの状況も踏まえながら、今後の有効性を検討します。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在も低額の予算で事業を実施できており、現状維持を予定しています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 設備の経年劣化や番号発見機モニター等のアナウンスの状況も踏まえながら、今後の方向性を検討します。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	20	バリアフリー推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		大谷	65111	

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ●平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。 ●区役所・市民館の間にある市民広場は、転倒等による事故が発生する可能性があるため、ノンスリップタイルに補修することにより安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。 							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		区役所・市民館の間にある市民広場は、築後36年が経ち、古いタイルは滑りやすく、転倒等による事故が発生する可能性があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,495	1,922	2,436	1,881	2,436	2,255	2,105	
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特材								
	一般財源	2,495	1,922	2,436	1,881	2,436	2,255	2,105	

計画 (Plan)	
事業の目的	市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来ることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市民広場の一部を破損や剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修します。 ●1階保健所入口前歩道への段差を解消します。 ●市民広場の階段手摺の一部を丈夫で安全なものに改修します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●市民館出入口部分のタイルを破損剥がれづらく、滑りづらい材質の路面材に改修しました。 ●1階保健所入口前の歩道切り下げを行い、段差を解消しました。 ●市民広場の階段手摺を丈夫で安全になるよう改修しました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	市民広場タイルの改修	目標	80	16	2		㎡
				実績	85.9	16	2		
	2	活動指標	保健所入口への段差解消	目標			1		個所
				実績			1		
	3	活動指標	階段手摺の改修	目標			1		個所
実績						1			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	来庁者が安全・安心に庁舎等を利用できるため、ニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	事業を実施したことにより、市民広場、保健所利用者にとって安全・安心な場所になりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施工方法、施工箇所、仕様の変更等の見直しを行うことで、より効果的に事業を進められる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		Ⅱ	取組みの見直し(施工方法、施工箇所、仕様の変等)を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えます。
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	25	窓口サービス向上事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			693300		区民サービス部区民課		八木澤	65237	

事業の概要									
事業の概要		来庁者が、区役所で過不足なく必要なサービスの提供を受けることができ、かつ快適に利用していただくため、接遇研修会の実施により職員の質の向上を図り、またサービス向上のためのワーキングチームを結成し、窓口サービスについての施策検討を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		区役所で行う手続き等については、年々その取扱いが細分化されることにより、窓口で案内を行う職員の質の向上が必須となっています。また、窓口で快適に過ごしていただく環境の最適化も、必要なものと考えます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	172	154	161	138	161	144	155	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	172	154	161	138	161	144	155	

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が、「窓口利用後にいかに気持ちよく後にしてもらえるか」の考えをもとに、①「接客サービス」、②「待合スペースや窓口の環境整備」の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布 ●接遇研修会等の実施 ●ワーキングチームによる施策

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		ほぼ目標どおり達成できました。 (新型コロナウイルス感染症の影響により待合ロビー内キッズコーナーを閉鎖したため、絵本の補充は行いませんでした)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	転入者への各種手続き案内チラシの配布	目標	100	100	100		%
				実績	100	100	100		
	2	活動指標	待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充	目標	9	9	9		冊
				実績	9	9	0		
	3	活動指標	接遇研修会等の実施	目標	2	2	2		回
実績				2	2	2			
4	活動指標	若手職員による「ワーキングチーム」の打合せ	目標	17	14	14		回	
			実績	17	19	18			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		窓口で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 元 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		<ul style="list-style-type: none"> ●待ち時間に子供を退屈させない「みやまえ☆チャレンジシート」(まちがいがし、迷路)の作成 ●掲示物の見直し ●職員向けウェルカムセット(宮前区で初めて業務に従事する職員用)の更新 	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	窓口サービスのより良い質への向上は、継続的に求められる状況にあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標で設定した活動指標の設定値を達成しており、成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワーキングチームでの討議等により、今後もより良いサービスを提供するための改善を行います。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
「来庁者にいかに満足してもらえるか」という窓口サービスの向上については、常に考えていかなければならない課題であり、そのための環境整備は必須事項であると言えます。現在問題となっている新型コロナウイルス感染症に対する状況を踏まえ、安全かつ質の高いサービスの提供を目指して取り組みの強化を図ります。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	30	区役所サービス向上推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691600		まちづくり推進部総務課		大谷	65111	

事業の概要									
事業の概要		窓サッシ、窓ガラス改修・1階女子トイレ洋式化(1カ所)を実施し、来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
地域の課題と現状		震災等で窓ガラスが破損し破片が飛散した場合、ガラス付近を通りかかった利用者が被害を受ける恐れがあります。また、夏場は日光が入り込むことによる熱及び窓サッシ不具合による開閉不良により換気が出来ないことによる庁舎環境の悪化、区役所外から区役所内が見えることによるプライバシーの問題があります。区役所1階の女子トイレについては4カ所中2カ所のみが洋式便器となっており、和式便器を使用することが難しい利用者が待たされる状況です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,482	3,377	3,901	3,632	2,695	2,602	2,350	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	4,482	3,377	3,901	3,632	2,695	2,602	2,350	

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者にとって安全で快適な庁舎にします。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●区役所南側の窓サッシ及び窓ガラスについて改修を実施します。 ●区役所1階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●区役所南側の窓サッシ及び窓ガラスについて改修を実施しました。 ●区役所1階女子トイレについて、和式便座1基を洋式便座へ改修しました。 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	窓サッシ、窓ガラス改修	目標			13		箇所
				実績			13		
	2	活動指標	和式トイレ洋式化	目標		1	1		基
				実績		1	1		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和8年度または令和9年度に、現在の市民館・図書館が鷺沼駅前に移転する予定です。その後、宮前区役所も移転する予定です。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市民館・図書館、区役所の移転を踏まえ、適切に対応を行っていきます。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	すべての来庁者が快適で安心安全な庁舎利用が出来るための区役所サービス向上事業は必要とされています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施した部分については、以前より来庁者にとって快適で安心安全な場所になっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討することで、庁舎がより快適で安心安全な場所になる可能性があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組みの見直し(追加等)を検討します。